

# 事業報告書

事業期間  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

本部  
母子父子福祉センター  
ゆたか保育園  
わかば保育園  
(建設会計)  
売店

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会

平成 29 年度 社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会 事業報告書

1. 事業報告

(1) 会議

- |               |  |
|---------------|--|
| ① 運営会議（定例）    | 年間 9 回開催   |
| ② 臨時運営会議      | 開催無  |
| ③ 理事会・評議員会・監査 | 評議員会：H29. 6. 26/H29. 12. 11/H30. 3. 19<br>(3 回)<br>理事会：H29. 6. 5/H29. 6. 26/H29. 7. 20/<br>H29. 7. 26/H29. 8. 10/H29. 9. 11/<br>H29. 10. 6/H29. 11. 29/12. 22/<br>H30. 3. 13 (10 回)<br>監査 H29. 5. 23 (1 回) |

(2) 生活支援事業

- ① ひとり親家庭等日常生活支援事業（豊中市からの委託事業）

(3) 広報活動事業

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| ① 広報部活動      | 随時                      |
| ② 事業案内発行     | 随時                      |
| ③ 「大阪ぼしれん」配布 | 年 4 回（5 月・8 月・11 月・1 月） |
| ④ ホームページの更新  | 随時                      |

(4) 母子及び寡婦福祉法第 25 条に係る売店事業・飲料水自動販売機事業

- |               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| ① 市立豊中病院内売店事業 | 「ローソン市立豊中病院店」の経営              |
| ② 飲料水自動販売機事業  | 市内 6 箇所（8 台）販売手数料：1,306,680 円 |

※上記で得た収入は、センター夏まつり・お母さん旅行等の事業費の一部に充当した。



(8)	京都イルミエール バスツアー	・るり溪温泉でのお食事会で楽しいお話をし、その後イルミネーション鑑賞を通して寡婦さんと母子会員さんの親睦を深めた。 参加者 (41名) 12/2 (土)
(9)	健康クリスマス会	・北原白秋の「五十音」を唱和し、早口言葉を順番に披露した。健康の大切さを語りながらケーキを食べ、交流を深めた。 参加者 (11名) 12/13 (水)
(10)	クッキング	・ホットプレートを使用して、にぎやかにホットケーキ作りを楽しみ、おいしく食べながら親睦を深めた。 参加者 (9名) 2/14 (水)

#### (7) 相談事業

子育て・就労・生活等に悩んでいる母子家庭及び寡婦並びに父子家庭の方へのサポートをした。(離婚前相談にも対応)

#### 2. 大阪府母子寡婦福祉連合会事業

- ◇ 母子家庭母の集い 7/16 (日) 25名参加
- ◇ 奨学金給付式 6/10 (土) 17名授与される。年額：6万円
- ◇ 大阪府豊能ブロック交流会「親子でWAKUWAKUリフレッシュ!!」  
11/26 (日) 8組21名参加
- ◇ 大阪府母子寡婦福祉大会 2/17 (土) 18名参加

# 平成29年度 事業報告書

豊中市立母子父子福祉センター

自平成29年4月 1日  
至平成30年3月31日

事業名		事業内容
就労支援講座	調剤事務管理士資格取得講座	6/4～7/16 (日) 14回 定員20人 受講者 18人 保育利用者1人 受講者合計230人 保育利用者合計14人 総人数244人 検定試験受講者数15人 合格者数8人
	事務職をめざすための日商簿記3級検定対策講座	9/10～11/12 (日) 20回 定員20人 受講者 9人 保育申込者1人 受講者合計146人 保育利用者合計14人 総人数160人 検定試験受験者数8人 合格者数5人
	介護職員初任者研修	11/26～3/25 (日) 16回 定員16人 受講者9人 保育利用者2人 受講者合計144人 保育利用者合計31人 総人数175人 資格修了証認定者数9人
学習支援講座	ひとり親家庭学習支援教室	4/8～3/24 毎週 (土) 【4月第1土曜日・休館日・日祝除く】 年間授業数47回 年間出席者数 中学生226人 高校生155人 合計381人 ※冬期講習 12/26 (火)・12/28 (木)・1/4 (木) 計3回 出席者数 中学生18人 高校生4人 終日 (午前と午後のどちらも) 参加する生徒さんが多く、進路指導や学習計画を、個別に行うことにより個々の学習意欲を高めることができました。冬期講習を開催し、長期の休み中も勉強をする習慣が身に付きました。クリスマス会やお疲れ様会を開催し、交流と親睦を深めました。
生活支援セミナー	奨学金制度説明会	7/30 (日) 定員30人 参加者18人 (後日資料のみ配布者4人) 内容：日本学生支援機構や大阪府育英会、母子寡婦福祉資金、豊中市奨学金、国の教育ローン、社会福祉協議会の教育資金貸付制度についての説明、質疑応答 講師：豊中市進路選択支援事業 相談員 (社福) 豊中市社会福祉協議会貸付相談員 豊中市こども未来部 子育て給付課 貸付担当者
相談	平日 (10:00～16:00)	年間相談件数 面接41件 (内父子1件) 電話146件 (内父子8件) 合計187件
	弁護士相談	年間相談件数 夜間24件 土曜日33件 合計57件
	専門相談	年間相談件数 計26件 (内父子1件)

事業名		事業内容
レクリエーション	母子・父子バスツアー	5/21 (日) 定員80人 行き先：淡路ファームパークイングランドの丘 薫寿堂・淡路島牧場 親(母) 35人・中高生5人・小学生以下39人 合計79人参加 (うち小学生1人当日欠席) 淡路島の薫寿堂でお香作りを体験したり、たこせんべいの里で試食とお土産選びに夢中になりました。淡路ファームパークイングランドの丘に行き、まずはバーベキューランチを楽しみました。参加者同士で会話がはずみにぎやかでおいしい食事交流会になりました。乗馬体験や玉ねぎの収穫体験をしたり、コアラやヒツジを見て癒されました。淡路島牧場では、新鮮な牛乳の試飲や乳しぼり体験、乗馬体験を楽しみました。参加者同士の交流を深められた楽しいバスツアーになりました。
	母子父子福祉センター夏まつり	8/21 (日) 参加者：概ね300人 開催場所：母子父子福祉センター・ゆたか保育園 2回目の開催となる「センター夏まつり」は、ひとり親家庭の親子、寡婦のみならずたくさんの地域の方々に参加いただき、楽しく交流を図ることができました。こども屋台ではポップコーン、おにぎり、たこせんを販売する可愛いこどもスタッフの接客が好評でした。マジックバルーンや消しゴムすくい、コイン落としも大勢の人で賑わっていました。千里ネイチャークラブの工作教室は大変人気で、ボランティアの方に教わって作成したコロコロブーメランで楽しそうに遊ぶ子供たちの姿がありました。ミニ消防車やマチカネくんの着ぐるみも大人気で、記念撮影をしたり、握手や抱き着きに行くなど楽しくふれあうことができました。
	親子で楽しいクリスマス会	12/17 (日) 定員60人(母と子) 親(母) 26人・こども34人 合計60人参加 人形芝居「ぬくぬく座」による人形劇では大掛かりなセットを組んでもらい、クリスマスにちなんだ人形劇を披露してもらいました。クリスマス工作では、マスキングテープやスパンコールで飾り付けをし、世界にひとつだけのフォトフレーム作りを楽しみました。サンタさんにお菓子の詰まったブーツをもらい、サンタさんとお話をしたり写真を撮ったり、みんな嬉しそうでした。ランチ会などを通して、ひとり親家庭の親子同士の交流を深めました。
貸室	会議室	年間合計 413件/4,253人
	和室	年間合計 305件/1,758人
	会議室・和室 合計	年間合計 718件/6,011人
研修	母子相談員研修	相談員2人 年10回受講
	人権研修	常勤職員1人 年1回受講
安全管理	消防訓練 講習会 設備点検	消防訓練年1回実施・安全管理合同会議年1回 非常時通報装置使用方法の講習会年1回実施 設備点検(消防・自動ドア・電気・空調)

# 平成 29 年度 ゆたか保育園事業報告書

## 1. 基本方針

保育課程にのっとり、子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指す。保育の中で工夫や

一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員会議やミーティングにおいて職員全員で考え、実践していくようにした。

多様な保護者に安心していただけるような支援に努め、外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり、全ての家庭が安心してあえる関係を築いていくようにし、保護者自身の自立への援助も行った。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、ゆたか保育園ではそれらのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていった。

### (1) 保育の充実

- ・乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にした保育方針をもとに、乳児クラスは、育児担当保育を行い大人との愛着を大切にして、個々に応じた保育を丁寧に行っていき幼児期に繋げていった。また幼児クラスは、乳児期に培った愛着をもとに、自分の事を好きになり、友だちとの関わりも深めていくことができた。
- ・園の活動や行事の目的を明確にし、実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、年齢に応じて子どもたちに必要な体験と成長を考えた保育を行い、園と子どもたちで楽しい毎日を積みあげていった。

### (2) 保護者への支援

- ・担任・担当保育士やスマイルサポーターを中心に、発達支援児を抱える保護者に寄り添い、保護者の希望もあり月に1回程度の懇談を行う。  
子どもの発達や育児不安など支援の必要な家庭は、こども総合相談窓口（豊中市）や療育施設（あおい鳥・Ohana・さんキッズ・チャイルドハート）との連携を行った。

また育児や家庭生活に不安を抱える保護者に対しても送迎時に丁寧に関わり、必要に応じて懇談を行った。

傾聴の姿勢で懇談を行うことで保護者の気持ちも安定し、子どもとの生活に安心できるような子育て支援を行った。

(3) 地域交流事業

キッズランド・スイトピー（地域交流事業）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業に取り組み、地域を含めて親子の育ちを応援する催しの企画運営を行った。

(4) 職員育成

新卒入職する職員、臨時職員、中堅以下の職員、パート職員の保育力や専門性の向上、また主任をはじめとしたベテラン職員による後輩育成の流れをつくるように、キャリアアップとして保育中核リーダー・保育リーダー・事務リーダー・各種リーダーを設け、研修、見学などを経て気づきを得る機会を作り職員同士の意見の交し合いができるようにした。

(5) 運営の組織化

各会議の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

2. 児童定員 定員 50名

H29年4月1日 55名(弾力化)

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
人数	14名	8名	11名	11名	8名	3名	55名
内障がい児 (担任加配)	2名	0名	1名	0名	0名	0名	3名

H30年3月31日 60名(弾力化)

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
人数	14名	8名	11名	12名	10名	5名	60名
内障がい児 (担任加配)	2名	0名	2名	0名	0名	0名	4名

3. 保育園開園時間

午前7時00分～午後6時30分

午後6時30分～午後7時00分（延長保育）

#### 4. 職員配置 (H29年度3月)

園長 (1) 主任保育士 (1) 保育士 (12) 育児休暇中保育士 (1) 看護師 (1)  
パート保育士 (2) 朝・夕・土曜日パート保育士 (3)  
保育支援員 (1) 事務 (1)・・・23名  
嘱託医[内科・歯科・眼科・耳鼻科] (4)  
委託調理師・調理員 (3) 委託栄養士 (1) シルバー人材センター用務 (1)

#### 5. 運営方針

(1) ゆたか保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催した。

- ・職員会議 月1回 定例会議
  - ・保育会議 月1回 定例会議  
保育中核リーダー中心に話し合いたいことを職員から吸い上げ  
グループワークなども行った。
  - ・障がい児担当者会議 月1回
  - ・昼ミーティング 毎日その日の伝達事項の確認を行った。
  - ・アレルギーミーティング 毎日次の日のおやつ・給食のチェックを行った
  - ・食育会議 月1回  
マルワの調理師、栄養士、担当者と意見を交換し、安全・安心な食事の  
充実を図っていった。
  - ・保健会議 月1回  
保健、衛生に関することを看護師中心に話し合い、知識も高めていった。  
感染症報告 (突発性発疹・ヘルパンギーナ・水痘・感染性胃腸炎・  
マイコプラズマ肺炎・インフルエンザ、アタマジラミ)  
保護者・担任・看護師・調理師によるアレルギー面談 (月1回) を行い、  
変わった事などがあれば食育会議、保健会議で伝えた。  
エピペンの使用講習については、新職員と希望職員に実施した。
  - ・クラスミーティング、乳児会議、幼児会議 月1回及び随時  
より良い保育を行うため、保育の内容や行事について話し合いを行い、  
保育士の共通認識とした。
  - ・運営委員会 年2回
  - ・施設会議 月1回 定例会議
  - ・苦情解決委員会 今年度は、苦情解決委員に報告する苦情はなかった。
  - ・園内人事委員会 随時
- (2) 各種係を設置し職員全員が分担し運営した。
- ・行事係
  - \*プール開き、終い \*七夕の集い \*ふれあいカーニバル (運動会)

\*作って遊ぼう \*もちつき大会 \*お楽しみ会 \*新年のつどい \*生活発表会  
\*修了式 \*お別れ会 \*誕生会

・地域支援

キッズランド・スイトピー・園行事に参加・世代間交流事業・異年齢交流事業  
(年間行事報告参照)

・避難訓練・消火訓練を実施した。

総合避難訓練では、母子父子福祉センター、市役所の職員の方、自治会の方と  
合同で行った。

(3) 保育士の業務効率化を図る

・登降園管理システムでの登降園時間や延長保育の管理を行った。

・ICTを使っての指導案の作成は、本園にあった様式を作成した。

・タブレットを各保育室で使用できるように、インターネットの整備を行った。

6. 保育方針

(1) 基本方針

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり安心安全で楽しく成長促進となる  
保育園生活を営む。
- ・最低基準を遵守し、園児の安定を大切にする。

クラス別保育方針は次の通り

- 0歳児クラス：発達の違う乳児に応じた保育を工夫する。  
(8か月から) 生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- 1歳児クラス：保育士と安心できる関係を築き、食事・排泄などの活動を  
通じて自分でしようとする気持ちをもてるようにする。
- 2歳児クラス：一人ひとりの子どもの欲求を満たせるように保育士も一緒に  
遊び、友達存在を少しずつ認め関わる楽しさを味わえるよう  
にする。
- 3歳児クラス：基本的な生活習慣を身につけ、保育士や友達の言うことを理解し  
ようとする。生活に必要な言葉を理解し身近な環境でいろいろなこと  
を経験し、生活を広げていくようにする。  
自分の気持ちや思いを言葉で伝え、相手の気持ちにも気付いていく。  
友達とイメージを共有しながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じあう。

○ 4歳児クラス：自分でできる事に喜びを持ちながら、身のまわりのことを身につける。保育者や友達に自分の気持ちや思いを言葉で伝えられ、相手の気持ちにも気づいて話を聞けるようになる。意欲的に色々な活動に取り組み、一緒に遊んで楽しいと思える仲間作りをする。

○ 5歳児クラス：生活の仕方がわかり、見通しを持って生活を進める。  
自分の思いを言葉で伝えようとし、相手の気持ちも知っていきながら友達との関わりを楽しむ。  
友だちと一緒に色々な経験をする中で、「できた」という達成感を感じ自信につなげる。

年間、月間、個人カリキュラム、週日案等を通し、評価・反省をしながら課題意識を持ち、園児のためにより良い保育を目指し、意見交換や話し合いを行った。

## (2) 給食 (株) マルワに委託する

委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る給食管理を行った。

- ・安心安全の食材の調達と衛生管理、独自の給食献立による食事の提供をした。
- ・冷凍母乳希望者はいず、離乳食も調理師と食材の硬さや味付けを検討、確認しながら進めることが出来ていた。
- ・アレルギー除去食、可能な範囲での代替食の実施を医師の診断書、指示書により月1回保護者とアレルギーチェックを行い、保育士、看護師、調理員と連携のもと誤食の事故防止を図っていった。

前日 アレルギーミーティング (保育士・看護師・調理師)

当日 調理師同士の声掛けチェック、保育士が調理室に貰いに行く時にチェック表を持参し調理師との食札と言葉でのチェックを行った。

保育室での配膳時の配膳台は、普通食と別の棚に置き保育士同士での声掛けを行っていった。

- ・給食に使用する材料が変更になったり、幼児クラスで給食当番を行う場合は、アレルギー児には、文章で知らせ確認のサインをもらった。
- ・保護者への情報提供として給食だよりの発行や平均給与栄養量の掲示を行った。
- ・人気のメニューのレシピをマルワの栄養士が作成し保護者が自由に持ち帰れるようにした。

### (3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月1回 5・4・3歳児視力検査 年1回
- ・内科健診 乳児年4回 幼児年2回 歯科検診 年1回  
眼科検診 幼児年1回 耳鼻科検診 幼児年1回
- ・尿検査 5・4歳児 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実

健康なからだ作りの為に日々の生活の中での指導や各クラスに対して、看護師により手洗い・トイレ指導を行った。

玩具の消毒や空気の入替えもこまめに行った。

### (4) 環境整備

- ・園庭整備（猫の糞や危険物の点検と掃除を毎朝行った）草むしり（随時）
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい（6/3（土）の保育参観終了後全職員で溝掃除を行った）
- ・土のうの点検（H27年8月から豊中市都市基盤部に借りて置いておく）
- ・各クラス子どもたちの成長に合わせて生活しやすいように保育室のコーナー等の整備を行った。（随時）

## 7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災または防犯訓練を実施した。担当者は毎月変わり、火災・地震・浸水・不審者侵入を想定して避難した。紙芝居等での指導も行った。
- ・消火器の使い方の把握や再確認のため毎月職員が消火訓練を行った
- ・緊急時の通信手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル 171」を保護者に知らせ保育園から伝言を録音して聞いてもらう体験を行った。（9/1・9/2・1/17・1/20）
- ・毎月末安全点検（各クラス、施設全体）を行い危険個所がないか点検すると共に日々の環境整備も心掛けた。
- ・ヒヤリハット報告（27件）

公園で小学生の足が頭にあたる、アレルギーの食札違い、エピペン受け取り忘れ、エピペン返却忘れ、腕の脱臼、噛みつき、つい立のネジが取れる、ひも通しのひもを首にかける、隣家の大木の枝が園庭に落ちる、棚のコーナーで首を擦る、園庭に危険物が落ちている（ネジ、プラスチックの破片）

・事故報告 (1件)

蜂に刺される

- ・地域(中桜塚自治会)、母子父子福祉センター、自治会と連携し総合避難訓練を行い防災意識を高めた。

(11/16 (木) 豊中市北消防署の職員の方に来てもらい通報訓練、避難訓練、消火訓練を行った。ミニ消防車も来て、子どもたちも見学した。)

8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

豊中市第3中2年生	2名	職場体験 (CAL) 受入れ	(3日間)
芦屋学園短期大学1年生	1名	実習生受入れ	(10日間)
豊中市第1中2年生	2名	職場体験 (CAL) 受入れ	(3日間)
大阪青山大学3年生	1名	実習生受入れ	(10日間)

9. 職員育成と研修計画

- ・乳幼児保育、障がい児保育、虐待、衛生管理、安全管理、指導計画、遊び、造形、感染症、保護者支援、人権、社会貢献について様々な研修に述べ135回参加し会議で報告し、資料を回覧し実践につなげていった。
- ・関係機関(豊中市、保健所、保育幼稚園室、大阪府社会福祉協議会、豊中市民間保育園連合会)の研修に参加した。
- ・保育教材(玩具)について園内に講師を招き、実際に玩具を使ってみて体験したことにより保育につなげていくことができた。
- ・障がい児保育について、園内に講師を招き、わかば保育園と合同研修を行い、支援の必要な子どもについての理解を深めることができた。
- ・育児担当保育については、園内の保育会議にパート職員も参加し、疑問点などをグループワークで話し合う機会を設けたことにより、理解を深めることができた。
- ・ICT化に伴いパソコンの得意な職員がそうでない職員に指導していくことにより、少しずつ活用できるようになった。
- ・保育園に送られてくる研修の情報を職員に知らせ、自主研修も推奨した。
- ・幼稚園免許更新講習を7、8月に2名の職員が受講し修了した。
- ・園内ヒヤリングやストレスチェックを行い自己の健康充実を図った。

## 10. 子育て支援事業

- ・ 保育園の職員の専門性を生かしスマイルサポーターを中心に子育てや食事の相談をうけた。
- ・ キッズランド・スイトピー（年10回）  
おはなし会、ふれあい遊び、どろんこ遊び、ふれあいカーニバル、豊中市スポーツ振興財団の親子体操、ベビーマッサージ、おたのしみ会での観劇等に参加してもらった。
- ・ 母子父子福祉センターまつり  
親子向け遊び歌ライブを行い、大勢の親子が参加し楽しんだ。

## 11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し発信できる保育園作り

- ・ 社会福祉法人の地域貢献事業としてホームページで、地域の親子に対しての子育て、子育ての相談も含め、共に育つことへの喜びを分かち合えるように園で行われる行事や地域交流をより広く発信した。  
8月に行われたセンター夏まつりや豊中まつりでは、年長児が和太鼓演奏を披露し、地域の方々に楽しんでもらうことができた。  
自治会や老人会との交流（ふれあいカーニバル、消防訓練、桜塚公園掃除、寿会新年互例会等）をすることができた。  
中学生職場体験では、「地域の子どもは地域で育てる」という理念をもとに働くことの厳しさや喜びを伝えることができた。また地域の気になる中学生の様子についても情報共有することができた。  
豊中市民間保育園・私立幼稚園・認定こども園就職フェア参加や実習生受入れを行うことで、豊中市の園がどのような保育を行い、子どもたちの未来を明るくするための努力をしているのかを保育士を目指す学生に発信することができた。

# 平成 29年度 年間行事報告

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会  
ゆたか保育園

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

月	日	事業名	事業内容
4	1	入園・進級を祝い会	新入・在園全ての親子で入園進級を祝った
	7	小学校入学式参列 (桜塚小・南桜塚小・緑地小)	H28年度卒園児の小学校入学式に参列した
5	17	クラス懇談会2・0歳児クラス 18:00~19:00	子どもの家庭での様子や悩み事を話し合ったり、入園進級後の子どもたちの様子を伝え、今後の取り組みなども伝えた。
	24	クラス懇談会4・1歳児クラス 18:00~19:00	
	31	クラス懇談会5・3歳児クラス 18:00~19:00	
	25	幼児おにぎり遠足	
	25	スイトピー(地域交流事業)	
6	1	交通安全指導	佐川急便の職員の方による指導を受けた
	3	保育参観	幼児は、親子で大塚公園へ 乳児は親子で触れ合いあそびをして楽しんだ
	6	園外保育(5歳児)	公共機関を使い大阪市立科学館に行き プラネタリウムを見て星や宇宙への興味に繋がった
	7	尿検査	4・5歳児が検査を行った
	8	歯科検診(全クラス) 歯磨き指導(幼児)	嘱託歯科医 小原歯科 中西Drにより行う
	13	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	20	個人懇談週6/19(月)~6/30(金)	家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話し合った
	22	幼児おにぎり遠足	大曾公園へ行って遊具で楽しく遊んだ
	22	スイトピー(地域交流事業)	おはなし会・ふれあい遊び 5組の親子の参加
	30	プール開き	プールでの約束事を守りながら楽しく遊んだ
7	6	耳鼻科検診(3・4・5歳児)	嘱託耳鼻科医 こうづきDrにより行う
	7	七夕の集い	笹飾りを作ったり、短冊に保護者と願いを書き笹に飾った
	14	お泊り頑張っね会	お泊り保育をする5歳児の為に激励会を行った
	15・16	5歳児お泊り保育	箕面市立青少年教学の森に宿泊した
	20	幼児おにぎり遠足	高温注意報が出ていたためおにぎりは、園内で食べた
	20	スイトピー(地域交流事業)	体操の先生と一緒に遊ぼう 6組の親子の参加
8	6	豊中まつり	豊島公園でゆり組が和太鼓演奏を披露した
	17	幼児おにぎり遠足	ふれあい広場であそび、おにぎりは園内で食べた
	17	スイトピー(地域交流事業)	どろんこ遊び 5組の親子の参加
	20	センター夏まつり	ゆり組が和太鼓演奏を披露した
	30	プール閉い	最後のプールを全児で楽しんだ
7・8月	プール開放(地域交流事業)	火・木11:00~11:30 8組の親子の参加	
9	1	バス遠足(5・4・3歳児)	大型バスで五月山公園に行き、動物と触れ合ったり、遊具で遊んだ
	1	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 6組の親子の参加
	6	敬老の集い(世代間交流事業)	地域の高齢者を招き、歌を披露したり、お手玉、けん玉、折り紙等一緒に遊んだ
	9	ゆたか祭り(保護者主催)	桜塚公園にてゲーム、体操、パントマイムなど親子一緒に楽しんだ
	12	全児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
10	8	ふれあいカーニバル(世代間交流事業)	桜塚公園にて地域、高齢者と運動会を楽しんだ 乳幼児9名 小学生11名 高齢者20名の参加
	19	幼児おにぎり遠足	雨天のため園内でリトミックをして、おにぎりを食べる
	19	スイトピー(地域交流事業)	ぞう公園であそぼう 雨天中止
	25	芋掘り遠足(メディカルホームくらら桃山台ベネッセの畑)	阪急バスを利用し4.5歳児が芋掘り体験をした
	31・11/1・2	地域体験学習(CAL)受け入れ	豊中市立第三中学校生2名が園児と一緒に遊び、保育士の仕事を体験をした

11	2	眼科検診・視力検査 (幼児クラス)	嘱託眼科医 高島Drにより行う
	2	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 5組の親子の参加
	7	バス遠足 (5・4・3歳児)	大型バスで伊丹スカイパークに行き遊んだ (わかば保育園と合同)
	9~17	保育参観週間	都合の良い日に保育の様子を参観してもらった 和太鼓・体操教室も参観を行った
	13	いっしょにつくってあそぼう (南桜塚小)	くるくるコプター・ストローひこうきを作り小学生と一緒に遊んだ
	20~12/1	実習生受入れ	芦屋女子短期大学1年生 1名
	28	作って遊ぼう	幼児3グループに分かれて手作りのおもちゃを作った
12	16	総合避難訓練 (母子父子福祉センター・中桜塚自治会合同)	火事を想定し桜塚公園に避難、消防職員に来てもらいお話を聞いたり、ミニ消防車をみたりして防災に対する意識を高めた
	4~15	個人懇談週間	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話し合ったり、成長を喜びあった
	6	もちつき大会	保護者や老人会の方と一緒に餅つきを楽しんだ。(マルワにつき手依頼)
	13	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	21	幼児おにぎり遠足	服部緑地へ行き遊具で遊んだりグループで遊び、園に帰りおにぎりを食べた
1	26	お楽しみ会・スイトピー (地域交流事業)	サンタさんからプレゼントをもらった 4組の親子の参加
	7	桜塚寿会の新年互礼会	5歳児が福祉会館で歌を披露した
	10	お正月遊びを楽しもう	伝統的な遊びや獅子舞の舞いを見て楽しんだ
	16~18	地域体験学習(CAL)受け入れ	豊中市立第一中学校生2名が園児と一緒に遊び、保育士の仕事を体験した
	18	幼児おにぎり遠足	久保公園へ行き散策をしたりアスレチックを楽しみ、園に帰りおにぎりを食べた
	18	スイトピー(地域交流事業)	体操の先生と一緒に遊ぼう 5組の親子の参加
2	30	入学体験 (南桜塚小学校)	園も小学校もインフルエンザが流行していたため行かなかった
	2	生活発表会 (幼児クラス)	歌・劇・和太鼓等を通し成長した姿を見てもらった
	6	バス遠足 (5・4・3歳児)	大型バスでキッズプラザに行き、ごっこ遊びを楽しんだ
	6	スイトピー(地域交流事業)	園内でインフルエンザ流行の為中止とした
	7	クラス懇談会 (2・0歳児クラス 18:00~19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	8	入学体験 (緑地小学校)	5歳児が小学校に期待できるよう体験した
	13~23	実習生受入れ	大阪青山大学3回生 1名
	14	クラス懇談会 (4・1歳児クラス 18:00~19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
3	26	入学体験 (桜塚小学校)	5歳児が小学校に期待できるよう体験した
	28	クラス懇談会 (3歳児クラス 18:00~19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	7	新入児入園説明会	新入園児に説明を行った
	6	お別れ遠足	5歳児が電車に乗ってキッズ・プラザに行った
	15	お別れ会	卒園する5歳児に在園児よりプレゼントを渡したり、お祝いをした
	13	継続児・新入児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより 継続児・新入児の健診を行った
	23	修了式	修了した喜びを全児で分かち合える式となった
	27	おにぎり遠足 (4・3歳児)	ふれあい緑地へ徒歩で行き、わかば保育園の3歳児と交流した
		園庭開放30組の親子の参加	

年間を通して毎月の行事

お誕生会 (毎月第3火曜日) 給食は誕生会メニュー  
 発育測定 (身長・体重・胸囲)、避難訓練、消火訓練、防犯訓練 (危機管理による)、安全点検  
 衛生検査 (頭シラミ、手足の爪などの検査)  
 4・5歳児・・・月一回和太鼓の稽古  
 3・4・5歳児・・・月二回体操教室  
 園庭開放 (月~金) 絵本貸出 (第1・3金曜日)  
 その他個人懇談、育児相談は随時

# 平成 29 年度 わかば保育園事業報告書

## 1. 基本方針

保育課程にのっとり、子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指す。保育の中で工夫や一人一人の子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員全員で考え、実践していくようにする。

多様な保護者に安心していただけるように支援にも努力し、継続の家庭はもちろん外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり安心しあえる関係を築いていく。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、わかば保育園ではそのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていく。

### (1) 保育の充実

- ・乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にした保育方針をもとに、子どもの発達や月齢構成に応じた生活やカリキュラムの工夫を行い健康なからだと安定した豊かな情緒を育てていけるようにし、気になる園児のことは、保健センターやしいの実学園と連携することができた。
- ・園の活動や行事の目的を明確にして実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、年間の行事計画内容を子どもたちに過度の負担がないようにした。保育士間での意見の出し合いも活発にできた。
- ・保護者の疾病などを理由に入所してくる子どもの中には保護者の精神状態の影響を強く受けることもあるので、そのことを深く理解し、子どもの行動情緒面を受け止め、子どもの気持ちに寄り添って、親子関係が安定するように保育することを大事に声かけをしていった。(支援数 7 家庭)
- ・H30 年度 4 月 1 日にむけて増築、定員を 45 名から 60 名に変更する工事が H29 年度 9 月 19 日に着工し、工事期間中、園児と保護者の毎日の登降園、生活を安全に送れるように注意した。

(2) 保護者への支援

- ・保護者の顔色や子どもへの言葉かけ、振る舞いを視診時によく観察し、声をかけながら育児や家庭の悩みの相談を受け少しでも保護者の負担を軽減できるようにした。
- ・気になる子どもの保育をいろいろ考慮し、集団での生活で成長のゆるやかさにより困難さが増すところを園内での見守り・関わりに配慮し、関係機関と保護者とともにより良い保育環境となるよう職員全員で考え、実践できたと思う。

(3) 地域交流事業

わくわくサークル(未就園児対象)で園行事(マリンコンサート・季節行事等)に参加してもらい集団生活の様子等保育の内容をみてもらったことで、わかば保育園の取り組みを実際に感じて頂けた。

(4) 職員育成

アクティブラーニングを考える研修やキャリアアップできる研修、人権リーダー認定1名、スマイルサポーター(今年度1名修了 計3名在籍)研修、腰痛から守る運動療法等で研鑽できた。また、衛生推進者(看護師)を設けメンタルチェックを実施した。

(5) 運営の組織化

運営委員会の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねた。

2. 児童定員 45名

H30年3月31日現在 弾力50名

年齢児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
4月予定人数	12名	17名	15名	6名	50名
3月利用定員	11名	18名	15名	6名	50名
内障がい児	1名	0名	0名	0名	0名

3. 保育園開所時間

午前7時00分～午後6時30分

午後6時30分～午後7時00分(延長保育)

4. 職員配置

園長(1) 主任保育士(1) 常勤保育士(11) 時短保育士(1)  
非常勤保育士4h～7h(5)

看護師 (1) 朝夕パート (2) 事務 (1)・・・23名 シルバー人材用務 (2)  
嘱託医【内科・歯科・耳鼻科・眼科】(4) 委託調理師・調理員 (3) 委託栄養士 (1)

## 5. 運営方針

(1) わかば保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催した。

- ・職員会議 月1回 定例会議
- ・保育会議 月1回 定例会議
- ・部署会議 各月1回 食育会議・アレルギー会議・リーダー会議  
フリー会議では非常勤職員の園内業務・伝達事項の周知を図った。
- ・保健ミーティング 随時・・・看護師中心で感染症の知識、報告等、保健・衛生・発育面のことを話し合い、食物アレルギーマニュアルの確認、熱性けいれんの対応のチャートを保育室でもすぐに確認できるように作成し、全職員が周知できるようにした。
- ・運営会議 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 必要があれば随時 報告会年1回
- ・園内人事委員会 随時

(2) 各種係を設置し職員全員が分担し運営した。

- ・行事係
- \*ファミリー交流会 \*プール開き、終い \*七夕の集い \*わかば祭り
- \*みんなでエンジョイスポーツ(運動会) \*ハロウィーンお芋パーティー
- \*作品展・作って遊ぼう会 \*お楽しみ会 \*新年のつどい
- \*わかばっこ発表会 \*入園式 \*誕生会
- ・地域支援  
わくわくサークル・園行事に参加・世代間交流事業・異年齢交流事業
- ・親睦会係  
歓送迎会、法人全体交流会、忘年会、送別会を実施した。
- ・訓練実施計画と実行(避難訓練・防犯訓練)

(3) 保育士の業務効率化

ICT化による登降園時間の把握と延長保育料計算・請求の作成により業務の一部の効率化が図られたが、指導案等の日々の活用はまだ課題がある。

## 6. 保育方針

(1) 基本方針

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり安全安心で楽しく成長促進となる保育園生活を営む
- ・最低基準を順守し、園児の安定を大切にする

クラス別保育方針は以下の通り

- 0歳児クラス：8か月～の乳児 発達の違う乳児に応じた保育を工夫し、離乳食の段階を保護者と連携して向上することができた。異年齢交流を通して他クラスの子どもも愛着を持つことができた。
- 1歳児クラス：保育士と安心できる関係を築き、食事・排泄などの活動を通じて自分でしようとする気持ちが持て、遊びのコーナーを設けることで自分の好きな遊びに集中できる姿がみられた。また、遊びを通じて友だちと一緒に過ごす楽しさを感じる姿もみられた。
- 2歳児クラス：一人一人の子どもの欲求を満たせるように保育士と一緒に遊び、友達存在も大事にできるように保育士が繋ぎ、自分の気持ちも言葉で言えるようになっていった。
- 3歳児クラス：基本的な生活習慣を身につけ、保育士や友達の言うことを理解できるように丁寧に関わり、散歩や姉妹園のゆたか保育園、野田こども園と交流して子ども自身の世界観を広げることができた。

\*年間・月間・個人カリキュラム・日誌等の中で、園児のために評価、反省、課題を出しながら日々の保育の大切さをいつも心にとめ、より良い保育の実現を目指した。

## (2) 給食 (株) マルワに委託する

- \* マルワと安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る衛生、給食管理を行うよう食育会議や随時疑問点など伝達するようにした。また、残食にならないように今年の園児の食事量等を随時伝達した。
- ・アレルギー児のアレルゲン内容の変化や緩和によりアレルギーチェックを再度行い、マルワと献立上の確認、食材、調味料、市販菓子の裏表示のコピー成分表を確認する。各クラスのアレルギーボードは前日に必ず記入し、厨房と口頭でやり取りしそれを基に配膳直前まで複数の職員でチェックし、誤食の事故に至らないようにした。(毎月給食日より配布)

## (3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や(園内掲示)、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月1回 3歳児視力検査(10月)
- ・内科健診 年4回 歯科検診 年1回 耳鼻科検診 年1回  
眼科検診 年1回
- ・職員検便 毎月1回

- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開

- ・けが防止ひやりハット活動の充実

健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による健康に関する教育指導も行った。(手洗い・うがい指導、歯磨き指導)

#### (4) 環境整備

- ・プール日よけ幕を設置し、近隣からの目隠しをし、過度の紫外線防止を図った。

- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい、ネコよけ対策、自園取得の隣地の除草を業者で行い近隣の迷惑にならないようにした。

- ・古い書類の整理、保管、廃棄をした。

#### 7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災訓練の実施(消火器の位置・初期消火の手順を必ず行う)

- 消火訓練(水消火器)の実施・安全点検(各クラス、施設全体)

- 防災管理マニュアルの見直しをし、職員周知を図った。

- ・ヒヤリハット報告(嘔みつき、転倒)は職員全員が周知し、再発防止に努めた。

- ・防災備蓄品の再点検と充実を図り、チェック事項を避難訓練ファイル内添付した。

- ・防災対策行動の再点検をし、水害による対策も追加した。

- ・地域と連携し総合防災訓練を行った。(ミニ消防車・消防署員参加)

- ・防犯、交通安全、防災教育及び消火訓練も園児が見ることにより、火遊び等の怖さや災害に対する心構えが少しでもできるようにした。

#### 8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

専門学校より実習の依頼があったが、園増設工事のため安全等に考慮し来年度にお願いした。

#### 9. 職員育成と研修計画

- ・公開保育、民間連合研修会、両園の園内研修(発達障害)、認知症サポーター養成研修を園内で受け、保育園や社会での自分が出来ることに関心を向けることができた。また、企業人権協議会の人権研修を受け、現代のいろいろな人権について園内で報告することができた。

- ・幼稚園免許1名取得。

- ・幼稚園免許更新更新2名。

- ・関係機関(豊中市、保健所、他市)の研修に参加し新しい情報を得られた。

- ・他園(野田こども園)との交流、見学(夢の鳥保育園)を通して自園の見直しができる。

- ・園内ヒヤリング・研修を行い(ストレスチェック、保育士全員で運動研修)

- 自己の健康充実を図ることができた。

## 10. 子育て支援事業

- ・スマイルサポーター3名在籍、(今年度1名認定)子育て中の親子の見守りと、入所の相談を受け、豊中市利用案内の説明や集団生活の利点等を話すことができた。
- ・わくわくサークル(未就園児対象)親子で園行事や製作をして楽しんだ
- ・園児との交流を含め、誕生日会参加、地域総合避難訓練参加園の行事にも参加して頂き、親子でマリimbaコンサートやクララルテ観劇等で日常から少し離れた時間を過ごしてもらえた。

## 11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し発信できる保育園作り

- \* わくわくサークルでの地域の方々との交流や、園の行事をホームページ(ブログ)ポスターで発信し参加者の子育て子育ての相談、親が頑張っていることへの認めや褒め言葉により、親自身が子育てに対して自信や子の成長の喜びを一緒に分かち合えるようにした。
- \* 就職フェア参加により、園見学など受け入れるようにした。
- \* ファミリー交流会、運動会、生活発表会を豊中市障がい福祉センターひまわりにて行い、センターひまわりの行事にも関心を深め、センターへの避難訓練を行い近隣施設との連携が大切であることを確認できた。  
庄内体育館(ローズ文化ホール)への避難訓練も同様におこなった。

## 12. わかば保育園増築

保育内容の充実を図り、また待機児童解消の一助に資するため、保育園の隣接地(稲津町第2児童遊園跡地)を新関西国際空港株式会社から購入し、定員45名から60名に増員する保育園を増築するに至る。

年齢編成は0歳児～3歳児を5歳児就学前までの保育施設とする。

その理由は、今までの3歳児までの保育は引き上げ転所を行う必要があり、それにより一旦入所しても5歳児までの施設へ転所希望される保護者が大半であった。0～5歳児の運営で保護者の安心と保育の安定を目指すことにした。それにより、転所届済みの方の転所取り消し(6名)など5歳児就学前までの保育施設効果が出始めている。

60名定員の新園開設は、増築工事について園庭工事は一部4月にずれ込んだが園舎は3月末に概ね完成し、平成30年4月1日となる。

### (1) 増築工事の配慮点

- ・新園舎は木のぬくもりを感じられる基調を重点とし、特殊付帯工事として夜間電力利用の地中蓄熱システムサーマ・スラブを取り入れ、健康空間を

得られる園舎となるようにした。

- ・保育室や施設内の床は園児の安全を考え、クッション性のある床にした。
- ・既存園のトイレが少なかったため、新園舎では使いやすく配置した。  
床・壁材の色も明るい基調にし園児が使用しやすいようにした。
- ・近隣住民のプライバシーに配慮するために、窓は不透明なペアガラスとした。
- ・保護者の駐輪場は道路側に設け、通用門までの間にも塀を設けて園児や保護者が近隣の車と接触がないように配慮した。
- ・既存園の園庭は砂場とし、新園舎の残地は園庭とする。
- ・セキュリティは玄関、通用門、園庭、砂場（既存）部分にカメラを増設して、園児と保護者の安全を守れるようにした。

・増築建物	木造(2×4工法)、2階建
・増築面積	約 245 m <sup>2</sup> (既存棟 312 m <sup>2</sup> )
	延床面積 298.54 m <sup>2</sup> →533.11 m <sup>2</sup>
	敷地面積 416.15 m <sup>2</sup> →909.82 m <sup>2</sup>

## (2)増築に伴う土地購入及び工事請負について

わかば保育園増築に伴う会計処理を明確にするために特別会計(建設会計)を設けた。特別会計(建設会計)の概要は以下のとおりである。

### ①土地の購入

(所在地、購入月)

稲津町一丁目 62-8(160.77 m<sup>2</sup>)、62-9 (94.17 m<sup>2</sup>) 平成 29 年 3 月

稲津町一丁目 62-6(238.73 m<sup>2</sup>) 平成 29 年 7 月

(購入の相手方)

新関西国際空港株式会社

### ②増築工事

(ア) 増築園舎工事基本設計・実施設計

・設計契約の相手方	大阪市鶴見区横堤 4-12-29 株式会社 チャイルド社
・設計契約額	基本設計 648,000 円
	実施設計 6,247,800 円
	計 6,895,800 円

(イ) 増築園舎工事請負

・工事請負契約の相手方 大東市大野 1-4-4  
富田建設 株式会社  
・工事請負額 94,284,000 円

(ウ) 園庭工事請負

・工事請負契約の相手方 大東市大野 1-4-4  
富田建設 株式会社  
・工事請負額 9,882,000 円

③補助金

豊中市補助金等交付規則及び民間保育所整備費補助要綱の規定に基づく

補助金

・補助金額 41,515,000 円  
・交付決定日 平成 29 年 6 月 26 日

④借入金

・借入先 独立行政法人福祉医療機構  
・借入金額 30,000,000 円  
・金銭消費貸借期日 平成 30 年 3 月 12 日

平成 29年度 年間行事報告

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

月	日	行事名	行事内容
4	1日	入園・進級を祝う会	園児 職員
		新入児慣らし保育	0歳児・・・6名 園長・・・1名
	1日	クラス懇談会 (0歳児クラス) 子どもの家庭での	1歳児・・・15名 主任保育士・・・1名
	5日	クラス懇談会 (1歳児クラス) 様子や悩み事、	2歳児・・・18名 保育士・・・17名
	6日	クラス懇談会 (2歳児クラス) 保育園での様子	3歳児・・・11名 朝夕パート・・・2名
	4日	クラス懇談会 (3歳児クラス) などを話し合った	計 50名 パート看護師・・・1名
	20日	避難訓練 (地震)	嘱託医・・・4名 事務員・・・1名 計23名
		委託調理員・・・3名	
		委託栄養士・・・1名	
		シルバー人材用務・2名	
5	10日	避難訓練 (火災)	午睡中の火災を想定し避難経路など確認した
	16日	歯科検診 (全児)	嘱託医 (五條歯科 清水医師)
		個人懇談会 (6/5～6/9 0歳児) (5/15～5/19 1歳児)	午睡時間やお迎えの時間を利用して園でのようすを伝えたり家庭でのようすを聞いたりした
		個人懇談会 (5/22～5/26 2歳児) (5/29～6/2 3歳児)	
6	3日	ファミリー交流会	障害福祉センターにて「さわむらしげはるとにここに楽団」によるパフォーマンスを親子一緒に楽しんだ
	5日	乳児内科健康診断 (0・1・2歳児クラス)	嘱託内科医 (明石医院・明石先生)
	8日	防犯訓練 (連れ去り)	保育士の寸劇を見て防犯の話聞いた
	14日	避難訓練 (火災)	給食室からの出火を想定し園前道路 (さくら広場側) に避難した
	15日	地域交流わくわく (3歳児クラス)	地域の方々と花紙を使って遊んだ
	16日	耳鼻科検診 (3歳児クラス)	嘱託医 (フルヤ耳鼻科 古谷先生)
	24日	就職フェア	職員2名で参加した
29日	歯磨き指導 (2・3歳児クラス)	看護師による指導	
7	4日	プール開き	水に親しみながら健康な体作りを行っていった
	7日	七夕の集い (地域交流行事)	七夕についての話を聞き、地域の方々、子どもたちの願い事を紹介した
	13日	避難訓練 (地震)	防災頭巾を被って避難した
		プール開放 (異年齢交流事業)	地域の親子に開放 (11:00～11:45) <8月まで> 土踏まずの形成を見た
8	3日	避難訓練 (台風)	避難用リュックを持ち2階へ避難した
	14日	園内研修 (運動療法)	健康維持、腰痛を防ぐからだの使い方を学んだ
	18日	プール終い	各クラスでメダルをもらいプール遊びを振り返った
	26日	わかば祭り (世代間交流行事)	出店 (ゲーム) や保育士が演じるパネルシアターを親子で楽しんだ
9	4日	内科健康診断 (全児)	嘱託医 (明石医院 明石先生)
	6日	防犯訓練 (不審者侵入)	不審者侵入を笛で知らせ避難した
	13日	野田こども園との交流 (3歳児クラス)	野田こども園園庭にてどろんこ遊びを楽しみ交流した
	14日	総合避難訓練・消防車来園 (地域交流事業)	通報・避難・消火の総合訓練を行い、地域の方々も一緒に避難し消防士からの話を聞いた
	27日	バス遠足 (3歳児クラス)	マイクロバスで下水道科学館へ行った
10	4日	視力検査 (3歳児クラス)	看護師による検査
	11日	運動会第一回予行	障害者福祉センターひまわりにて運動会に向けて日頃の様子を表現できるようみんなで作り上げた
	17日	運動会第二回予行	障害福祉センターひまわりにて日頃の様子を伸びのびと表現し、地域の方も一緒にプログラムに参加し楽しんだ
	21日	運動会 (世代間交流事業)	
	24日	避難訓練 (竜巻)	竜巻の発生を想定し保育室の中央に避難した
	26日	視力検査 (3歳児クラス)	看護師による検査
	26日	眼科検診 (3歳児クラス)	嘱託医 (もりおか眼科 森岡先生)
	31日	ハロウィン&おいもパーティー (異年齢交流事業) 弁当日	各クラスでクッキングを楽しみ、子どもたちが作った衣装で仮装し披露したり、地域の親子との交流も行った

月	日	行事名	行事内容
11	7日	バス遠足 (3歳児・ゆたか保育園と合同)	伊丹スカイパークにてゆたか保育園との交流を楽しんだ
	9日	避難訓練 (水害)	水害を想定し障害福祉センター体育館まで避難した
	10日	園内研修 (認知症サポーター養成研修)	午睡時間を利用して講師を招き学んだ
	14日	体操教室 (2,3歳児クラス)	アイスリーによる体育の指導を受けた
	15日	野田こども園との交流 (3歳児クラス)	さくら広場でしっぽとりを楽しんだ
	16日	マリンバ演奏会 (地域交流事業)	マリンバの演奏を地域の方々と一緒に楽しんだ
	20日	作品展 (~30日)	テーマに添った作品を年齢ごとに作り、園内に掲示して保護者に見てもらった
	21日	音楽教室 (2,3歳児クラス)	アイスリーによる音楽の指導を受けた
	27日	作って遊ぼう会	縦割りグループでの交流を楽しみながら、子どもたちが作った物も使って遊んだ
	29日	手洗い指導 (2,3歳児クラス)	看護師による手洗いの仕方について指導を受けた
12		個人懇談会 0歳児 (20日~24日) 1歳児 (27日~12月1日) 2歳児 (12月4日~8日) 3歳児 (13日~17日)	午睡時間やお迎えの時間などを利用して、子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、成長を喜び合ったりした
	4日	乳児内科健康診断 (0・1・2歳児クラス)	嘱託医 (明石医院 明石先生)
	5日	防犯訓練	紙芝居を見て連れ去りや工事現場の危険について話を聞いた
	11日	避難訓練 (ガス漏れ)	園庭から近隣公園に避難をした
1	10日	新年の集い (地域交流事業)	カルタ、コマ回しや羽根つきなどのお正月遊びや南京玉すだれを見て楽しんだ。
	12日	野田こども園との交流	野田こども園ホールにてゲームなどを楽しみ交流した
	24日	避難訓練 (火災)	火災を想定し園庭から近隣公園に避難した
	25日	園内研修 (ゆたか保育園と合同)	保健センター所長を招き発達障害について学んだ
2	6日	避難訓練 (漏電)	防災頭巾を被って避難。非常食、避難経路の確認をした
	7日	わかばっこ発表会 (生活発表会) 合同練習	園内にて発表会の内容を見せあった
	14日	わかばっこ発表会 (生活発表会) 第1回予行	障害福祉センターひまわりにて、発表会にむけて表現活動を楽しんだ
	21日	わかばっこ発表会 (生活発表会) 第2回予行	障害福祉センターひまわり体育館にて表現活動を楽しみ、保護者の方々とともに一年の成長を喜んだ
3	2日	防犯訓練	紙芝居を見た後に注意事項について話を聞いた
	2日	内科健康診断 (全児) 新入児入園説明会、内科健康診断	平成30年度の新入児の健康診断後に入園説明会を実施した
		クラス懇談会 3/6 0歳児クラス	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子を話し合ったり、成長を喜び合ったりした
		3/16 1歳児クラス	
		3/9 2歳児クラス	
		3/2 3歳児クラス	
	7日	避難訓練 (地震)	地震を想定しローズ文化ホールへ避難した
	6日	バス遠足 (3歳児クラス)	キッズプラザ大阪にて園外保育を行った
10日	新入児個人面談	平成30年度の新入児の個人面談を行った	
27日	ゆたか保育園との交流	ビオパークに散歩に出かけ一緒に遊び交流を楽しんだ	

年間を通して毎月の行事

お誕生会 (毎月第4木曜日)

発育測定 (身長・体重・胸囲)

避難訓練、消火訓練、防犯訓練 (危機管理による)、安全点検

衛生検査 (毎週初めに頭シラミ、手足の爪などの検査)

延長保育事業

マイクロバス遠足 (3歳児クラス 年3回)

体操教室 (2・3歳児クラス 年間10回) 豊中市スポーツ振興事業団による指導

## 平成 29 年度市立豊中病院内売店(ローソン)事業報告書

### 1. 売店運営の展開

- (1) ローソンとフランチャイズ契約を締結し、「ローソン市立豊中病院店」を平成 26 年 2 月 28 日開設し 4 年目の 29 年度は、1 階のレストランや事務所棟 6 階の職員食堂の閉鎖に伴い、職員食堂の一角に売店の出店をするなど 28 年度に比べて概ね、お客様数 12%、売上 13% 上昇し、日販も 55 万円と当初目標である 60 万円に近づいた。30 年度は少なくとも 5 月まではこの状況が続くと思われるが、その後はレストラン、職員食堂の再開も予想されることから、病院内コンビニとして医療用品の充実を図るとともに、お客様のニーズに合った商品揃えや販売方法により院内コンビニとしての特色を生かした売店づくりを行い収益の増につなげていく。

また、31 年 3 月にはオープンして 5 年が経過することから、今年度中に病院からコンビニエンスストアに対し公募が行われる予定だが、更に 5 年間売店経営が続けられるよう取組んでいく。

### 2. 売上高と客数の推移

		29 年度	28 年度	27 年度	26 年度
売上高 (単位千円)	年間 (前年比)	201,858 (13,8%増)	177,246 (4,6%増)	169,340 (5,5%増)	160,462
	月間	16,821	14,770	14,111	13,371
	1 日	553	485	462	439
客数 (単位 人)	年間 (前年比)	436,380 (12,8%増)	386,725 (4,8%増)	368,950 (4,8%増)	361,596
	月間	36,365	32,227	30,745	30,133
	1 日	1,195	1,059	1,008	990